

CASBEE-広島（2010年ver.1）
ポレスター五日市駅前式番館

 用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										3.1
Q1 室内環境							0.40			3.8
1 音環境						2.2	0.15	2.8	1.00	2.7
1.1 騒音				T-1 D-50 L-45		2.0	0.40	3.0	0.40	
1 暗騒音レベル		2.0	1.00			3.0	1.00			
設備騒音対策			-				-			
1.2 遮音		3.0	0.40			3.5	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00			3.0	0.30			
2 界壁遮音性能			-			4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-			4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-			3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.20			1.0	0.20			
2 温熱環境						2.6	0.35	5.0	1.00	4.7
2.1 室温制御				最良の日射遮蔽・断熱性能を有する		3.0	0.50	5.0	1.00	
1 室温設定		3.0	0.63			-	-			
2 室温変動抑制対策			-				-			
3 外皮性能		3.0	0.38			5.0	1.00			
4 ゾーン別制御性			-				-			
5 日射・室温抑制対策			-				-			
6 日射・室温抑制対策			-				-			
7 日射・室温抑制対策			-				-			
8 日射・室温抑制対策			-				-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20			-	-			
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						2.7	0.25	3.2	1.00	3.1
3.1 屋光利用				2.0%以上		3.0	0.30	3.4	0.50	
1 屋光率		3.0	0.60			5.0	0.50			
2 方位別開口			-				0.30			
3 屋光利用設備		3.0	0.40			3.0	0.20			
3.2 グレア対策						2.0	0.30	3.0	0.50	
1 眩光対策			-				-			
2 屋光制御		2.0	1.00			3.0	1.00			
3.3 照度						3.0	0.15	-	-	
1 照度		3.0	1.00			-	-			
2 照度対策			-				-			
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境				F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用		4.0	0.25	3.8	1.00	3.8
4.1 発生源対策				F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		4.0	1.00			4.0	1.00			
2 化学汚染物質			-				-			
3 化学汚染物質			-				-			
4 化学汚染物質			-				-			
4.2 換気				換気量1.4倍以上確保		4.0	0.40	3.6	0.38	
1 換気量		5.0	0.50			5.0	0.33			
2 自然換気性能			-			3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50			3.0	0.33			
4 給気計画			-				-			
4.3 運用管理							-		-	
1 CO ₂ の監視			-		-		-		-	
2 喫煙の制御			-		-		-		-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.1
1 機能性						1.8	0.40	3.6	1.00	3.4
1.1 機能性・使いやすさ				100Mbitのブロードバンドが整備		1.0	0.60	4.0	0.60	
1 広さ・収納性			-				-			
2 高度情報通信設備対応			-			4.0	1.00			
3 バリアフリー計画		1.0	1.00				-			
1.2 心理性・快適性						3.0	0.40	3.0	0.40	
1 広さ感・景観			-			3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース			-				-			
3 内装計画		3.0	1.00			3.0	0.50			
1.3 維持管理							-		-	
1 維持管理に配慮した設計			-		-					
2 維持管理用機能の確保			-		-					
2 耐用性・信頼性						3.1	0.31		-	3.1
2.1 耐震・免震				衛生:B 消火:C		3.0	0.48		-	
1 耐震性		3.0	0.80				-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20				-			
2.2 部品・部材の耐用年数						3.2	0.33		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23				-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23				-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09				-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08				-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.15				-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23				-			

	2.3 設備の更新				-		-	
	2.4 信頼性			3.2	0.19		-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	光ケーブル対応、精密機器の浸水の危険性がない	4.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
	3.1 空間のゆとり				-	2.6	0.50	
	1	階高のゆとり			-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ			-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり				-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00		-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	-	4.6
1 建物の熱負荷抑制		省エネルギー対策等級4	5.0	0.40		-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20		-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50		-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50		-	-	
3 設備システムの高効率化		エコジョース等の高効率の機器の採用	5.0	0.40		-	-	5.0
4 効率的運用				-		-	-	-
4.1 モニタリング				-		-	-	
4.2 運用管理体制				-		-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.15		-	-	3.4
1.1 節水		節水型便器、節湯器具等の採用	4.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	-	
1		雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00		-	-	
2		雑排水再利システム導入の有無		-		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.63		-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		ー	3.0	0.20		-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		造作材に集成材を使用。	3.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			3.0	0.24		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22		-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68		-	-	
1		消火剤	4.0	0.33		-	-	
2		断熱材	3.0	0.33		-	-	
3		冷媒	3.0	0.33		-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が少ない	3.5	0.33		-	-	3.5
2 地域環境への配慮			2.4	0.33		-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25		-	-	
1		雨水排水負荷低減	-	-		-	-	
2		汚水処理負荷抑制	3.0	0.33		-	-	
3		交通負荷抑制	3.0	0.33		-	-	
4		廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.33		-	-	
3 周辺環境への配慮		駐車スペースの確保	3.0	0.33		-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	-	
1		騒音	3.0	1.00		-	-	
2		振動	-	-		-	-	
3		悪臭	-	-		-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	-	
1		風害の抑制	3.0	0.70		-	-	
2		日照阻害の抑制	3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	-	
1		屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70		-	-	
2		屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30		-	-	